

(別表第1の4)

目標達成計画

事業所名 グループホーム あいらんど

作成日：平成22年04月11日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに次のステップへ向け取り組む目標を職員一同で話し合いながら作成します。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】						
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間	目標達成状況(任意)
1	4	運営推進会議の開催が2～3ヶ月に1回位のため年間開催数が少ない。 開催時には、限られた職員のみ参加だった。	2ヶ月に1回、年6回は必ず開催する。 全職員が順次出席し、運営推進会議の意義を理解していく。	確実に2ヶ月に1回必ず開催する。 全職員が交代で職務に支障のないよう出席していく。	12 か月	1月・3月実施済 3月事務員出席
2	35	緊急連絡網の体制は整えているが、実際に確実・迅速に機能するかどうか分からない。 避難訓練において、近隣住民・地元消防団と連携を図りより実践的な訓練を取り入れたい。	いつ何時も連絡網は迅速・確実に機能させる。 災害時は地域住民や地元消防団の助けも必要なため、真先に駆けつけてもらえるようにする。	不定期に、確実に機能するかどうか、緊急連絡網を実際に試してみる。 避難訓練時には近隣住民・地元消防団にも来て頂けるように案内する。	6 か月	
3	33	看取りに関する指針を家族に説明し、利用者の状態に応じた学習を行い、医療機関の指導等を得ながら関係機関とのチームでの支援方針を共有し、マニュアルに沿った支援をしているが、全職員が看取りについて共有しているかどうか? が課題。	全職員が技術や知識を高めていき、利用者や家族が安心して看取りケアを受けられるように全職員の技術・知識を高める。	一度に全員は出来ないため、二回に分けて4月中に看取りの指針等を理解できるように勉強会を修了する。	2 か月	4月中に実施予定
4	1	現在の理念は全て実行されており、達成しているために更なる一歩進んだ理念を再検討してみる。	地域との連携・交流を大切にされた地域密着型の意義や役割を盛り込んだ理念を全職員で作る。	毎月開催の各棟スタッフ会時に職員から案を収集していき、一年後に最終まとめて話し合い、更なる理念を構築する。	12 か月	
5					か月	

注1) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。

注2) 項目数やセルの幅が足りない場合は、行を挿入してください。

注3) 外部評価結果の通知を受けた日から概ね30日以内に評価機関に報告してください。

注4) 目標達成状況は任意となっております。期限に定めはありませんので、適宜評価機関に報告してください。